

奏者プロフィール

ヴァイオリン：大倉 彰人

ウィーン市立音楽芸術大学卒業。

11歳からNHK交響楽団コンサートマスターの篠崎史紀氏(マロ)に弟子入りし薫陶を受ける。高校在学中にÖSD(オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験)を取得し、岡崎南ライオンズクラブより特別奨学金を得て、ウィーン市立音楽芸術大学に入学。

2012年、2013年イタリアにてトーマス・クリスティアン氏のマイスタークラスを受講。

アゾーロ音楽祭に出演。ヴァイオリンを元ウィーン交響楽団コンサートマスターのフローリアン・ツヴィアウアー、トーマス・クリスティアン各氏に師事。室内楽をハルトムート・パッシャー氏、近代音楽の室内楽をプロブスト・オットー氏に学び、オットー氏主催のコンサートで演奏したルトスワフスキー作曲「スピト」は高い評価を得てCD化された。

2016~2017年に、招聘ビザを取得しロシアに渡り、グネーシン音楽大学のダニイル・グリゴリエフ氏からロシア音楽教育と民族楽器を学ぶ。「ショスタコーヴィチとロシア文化について」の研究に取り組み、その論文が大いに評価され、大学ではショスタコーヴィチの授業を一任される。

2020年2月に7年間の留学生生活を終え帰国。

日本室内楽アカデミーメンバー。

第13回岐阜国際音楽祭コンクール弦楽器部門第1位、併せて岐阜市長賞、審査員特別賞を受賞。

第24回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門 Age-G 最高位受賞。

第40回記念名古屋演奏家育成塾コンサート「ベストソリスト賞」コンペティションファイナルに出場。第2位、併せて圧倒的投票数でオーディエンス賞受賞。

読み聞かせ作家：山田 千鶴

自分の好きなことでみんなに喜んでもらえたら嬉しいと思い、読み聞かせ作家をしています。尾張旭が大好きなので、尾張旭にちなんだお話を自作し、尾張旭のいいところを絵本で広めています。また、公園で絵本の読み聞かせをして、子供や大人みんなで楽しむという活動をしています。

今回披露するお話は「ダチャカンドチャカン尾張旭の瀬戸電」という瀬戸電にまつわる自作絵本です。

あさひくんがガタンゴトンと瀬戸電に乗っていると突然大きな音がして、昔の瀬戸電にタイムスリップ。ダチャカンドチャカンと揺られながら、瀬戸電の歴史を体験します。

ぜひ、みなさんも瀬戸電に乗った気分楽しんでください

クラリネット：岡田 愛音

第20回日本演奏家コンクール木管楽器部門高校生の部特別賞。第35回クラリネットソロコンテスト専門の部最優秀賞及びグランプリ。第4回HAPPY CLARINET CONTEST 審査員特別賞。2025年8月に中国鄭州の泰山国際音楽祭にて演奏した。C.Neidichを始めとする世界的な奏者のマスタークラスを受講。兵庫県立西宮高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。現在同大学院博士前期課程に在学中。

ピアノ：大竹 かな子

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコースを経て、同大学大学院音楽研究科博士前期課程を首席で修了。

2020年度北野生涯教育振興会音楽奨学生、第3回刈谷国際音楽コンクール最優秀賞及び審査員特別賞、第10回横浜国際音楽コンクール最高位、第10回山田貞夫音楽賞及び特選などを受賞。

現在はソロやアンサンブルでの演奏会、オーケストラ客演でピアノ協奏曲を多数演奏するほか、伴奏ピアニストとしても活動する。